



「大塚製薬は「人々の健康をカラダ全体で考える」トータルヘルスケアカンパニーです。

大塚製薬株式会社

企業・団体Data

【代表者】吉田卓史／【住所】大阪市北区中之島6-2-40中之島インテス14F
 【TEL】06-6441-6532
 【Mail】tanakaku@Otsuka.jp
 【HP】<https://www.otsuka.co.jp>
 【担当】田中 浩一

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する



グローバルに展開するトータルヘルスケア企業として、私たち大塚製薬の企業理念には「自らの手で独創的な製品を創る」「健康に役立つ」「世界の人々に貢献する」という思いが込められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Profile

大塚製薬は、疾病の治癒を目指し新しい治療薬を提供する「医療関連事業」、健康の維持・増進のための製品を提供する「ニュートラシューティカルズ関連事業」の両輪で、人々の健康に貢献しています。

SDGs Action

社会〔 社会の健康 〕

健康 ▪ 満たされていない医療・健康ニーズの存在

- 感染症の蔓延 ▪ 栄養ニーズの存在 ▪ 高齢化に伴う課題の増加 ▪ アンメット・ニーズ解決への貢献
- 結核の撲滅 ▪ 健康なくらしの実現のための仕組み作り ▪ 健康寿命の延伸 ▪ アンメット・ニーズ解決に向けた研究開発促進 ▪ 抗結核薬の研究開発と薬剤アクセスの向上 ▪ 運動・栄養等を主テーマとした人々の健康維持・向上の支援、啓発活動 ▪ パートナーシップ強化による課題解決促進

人材 ▪ プレゼンティーズム※1

- 多様化への未対応 ▪ 創造意欲を喚起する企業風土の醸成 ▪ 従業員エンゲージメントの強化
- 人材育成 ▪ ダイバーシティ推進 ▪ 健康経営品質 ▪ 持続可能性を損なう消費・生産
- ステークホルダーの信頼の獲得 ▪ バリューチェーン全ての段階での持続可能性の追求
- 安心・安全のための品質保証体制の確立 ▪ 持続可能な調達と製品設計 ▪ 徹底した品質管理と安定供給 ▪ 責任ある販促活動と情報提供 ▪ ステークホルダーとのコミュニケーションの深化 ▪ 「消費者志向経営」の推進

環境〔 地球の健康 〕

気候変動 ▪ 地球温暖化 ▪ 2030年目標：CO2排出量を2017年比で30%削減

- バリューチェーン全体のCO2排出量削減 ▪ 資源共生 ▪ 環境負荷の増大 ▪ 2030年目標：単純焼却・埋立を2019年比50%削減※2 ▪ 資源効率向上による環境負荷軽減 ▪ 社会・地球共に持続可能な状態を目指した事業活動の推進水資源 ▪ 水リスクによる淡水の利用可能量減少 ▪ 2030年目標：水の利用率を2017年比15%改善 ▪ 水リスクの把握 ▪ 水資源の管理と有効利用

ガバナンス ▪ 脆弱なガバナンス体制

- 社会変化によって生じるリスク ▪ 長期的な企業価値向上 ▪ コーポレートガバナンスの強化 ▪ コンプライアンスの徹底 ▪ リスク把握、評価、管理

